

## 令和7年度 第2回 曳馬小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年10月31日（金） 午後2時00分から4時30分
- 2 開催場所 曳馬小学校 多目的ホール
- 3 出席委員 飯尾 忠弘、中村 佐知枝、戸田 京子、鈴木 香代、山田 佳乃
- 4 欠席委員 荒巻 太枝子、川井 啓介
- 5 オブザーバー 伊藤 成明(曳馬協働センター)
- 6 学 校 藤井 隆志（校長）、古橋 孝文（教頭）、  
鈴木 正委（主幹教諭・CS担当職員）、内堀 邦子（CSディレクター）
- 7 教育委員会 鈴木陽子(教育総務課)
- 8 傍聴者 なし
- 9 会議録作成者 内堀邦子（CSディレクター）
- 10 議長の指名

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、飯尾会長を議長に推挙する発言があり、全員異議なくこれを承認した。

### 11 協議事項

- (1) 「令和7年度学校経営評価」について（藤井隆志校長）
- (2) 「教育課程」について（鈴木主幹教諭）
- (3) 「令和7年度全国学力学習状況調査」について（鈴木主幹教諭）
- (4) 「学校評価」について（藤井隆志校長）
- (5) 「学校支援活動」について（鈴木主幹教諭）

### 12 会議記録

司会から、委員総数7人のうち5人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。オブザーバーとして、曳馬協働センターの伊藤成明さんに参加していただいた。

#### (1) 「令和7年度学校経営評価」について

議長の指示により、校長から別紙資料に基づき「学校経営評価」について説明があり、以下の発言があった。

- ・ 学校経営構想について教職員による共通理解がされているか。（飯尾会長）
- ・ 学校運営協議会の意義や活動や学校経営構想を教職員に分かりやすく示す必要を感じている。解釈を深め、同じ方向を向いて実践できるよう進めていく。  
（藤井校長）
- ・ 教職員に学校運営協議会の良さ、価値を伝えてもらいたい。（飯尾会長）
- ・ 「心身の安全が保障され安心して生活できる学校」の評価が低いのは、どういうことか教えてほしい。（山田委員）
- ・ いじめ防止対策は行っているが根絶されてはいない。また、対人関係などから不要なけがにつながる等の不安がゼロにはならないからではないか。（藤井校長）

- ・ 早寝、早起きについて教員はどのように評価しているのか。(山田委員)
- ・ 遅刻者が多数見受けられる。基本的な生活習慣は、家庭環境が大きく影響する。遅刻の理由を聞く中で、家庭環境や生育歴を理解し指導していく。(藤井校長)
- ・ 旗振りの時、子供の様子を観察している。登校が遅くなりがちな子供がいて心配をしている。(飯尾会長)
- ・ 挨拶ができていない学校だと思っていたが、最近できていないように感じる。その理由が気になる。地域や家庭への働きかけと共に、挨拶を自らすることを指導する必要がある。学校での取組はどのように行っているのか。(戸田委員)
- ・ 他校と比較すると曳馬小は挨拶ができていないと感じている。校内では挨拶ができていないが、校門や校外では挨拶をしていないように感じる。他者への警戒が強く求められている時代背景が影響しているのではないかと。現在は特に取組は行っていないが今後に向けて思案中である。(藤井校長)
- ・ 昨年度からコーディネーターが不在。これにより教員がコミュニティスクールのことを認知していないのではないかと。主体的な授業のためには地域の人材発掘は必要不可欠。コーディネーターから協働センターに働きかけ、地域人材を活用することで授業の充実を図ることができるのではないかと。コーディネーターは2～3人必要ではないかと。(戸田委員)
- ・ 近年、曳馬小学校の教員の大幅な入れ替えがあり、研修主任が交代したり若手教員が増えたりしている。授業は土台固めを進めている。教員の環境を整えることにより教育の充実度が上がる。特別活動では、教員が一丸となり、ダイナミックに活動を行っている。今後コーディネーターは2～3人必要だと考えている。(藤井校長)
- ・ 1期のコーディネーターは研修会に参加し、その後主体的に活動してくれていた。(飯尾会長)
- ・ 現時点ではコーディネーターの候補はいない。学校内での活動は、敷居が高くて入りにくいと言われている。各々の行事に協力できる人材については、行事ごとの担当教員や教頭先生と連絡を取っていききたい。(伊藤オブザーバー)

協議の結果、学校経営評価について、全員異議なく承認した。

## (2)「教育課程」について

議長の指示により、鈴木主幹教諭から別紙資料に基づき教育課程について説明があり、以下の発言があった。

- ・ 児童会の子供たちを見ていると宿題を自力でできる程度の学習理解がされていないと感じることがある。サマータイムやウインタータイムの影響があるのではないかと。(鈴木佳代委員)
- ・ サマータイムやウインタータイムは昼休みを短縮しているが、授業時間は変更していないので、学習時間が減ることはない。短縮は、暑さ対策により校庭で遊べないことや冬の感染症対策のために行っている。(鈴木主幹教諭)

- ・ 休み時間が減ったことで、子供たちがリフレッシュできていないということはないか。（鈴木佳代委員）
- ・ アンケート結果では、もっと遊びたいという声もあるが、早く帰ることができて良いという声の方が多い。体調管理を優先していきたい。（鈴木主幹教諭）
- ・ 今年の酷暑の影響で、遊びの制限があったが、子供のストレス軽減をどのように行ったか。（荒巻委員）
- ・ 熱中症対策のために、校庭で遊ぶ時間や内容の制限を行ったが、雨の日のために用意したカードゲーム等を活用した。（鈴木主幹教諭）
- ・ 先生の研修の際、おすすめ授業やおすすめ単元を見に行くための体制作りが必要ではないか。（戸田委員）
- ・ 学年内で協力しながら参観するための体制をできる限り整えている。（鈴木主幹教諭）
- ・ 水泳の入水承認の体制が、保護者の不注意で子供の水泳の機会を減らしてしまうので、入水できない時に連絡するよう変更を検討してもらいたい。（山田委員）
- ・ 安全面を最優先しているので、話し合った結果、現行体制に決まった。保護者へ十分に周知し、理解を求めている。（鈴木主幹教諭）

協議の結果、教育課程について全員意義なくこれを承認した。

### （３）「令和７年度全国学力学習状況調査」について

議長の指示により、鈴木正委主幹教諭から、別紙資料に基づき「令和７年度全国学力学習状況調査」について説明があり、以下の発言があった。

- ・ 静岡県 averages よりかなり学力が上回っていることが分かった。（飯尾会長）

令和７年度全国学力学習状況調査について、全員異議なくこれを承認した。

### （４）「学校評価」について

議長の指示により、藤井校長から別紙資料に基づき「学校評価」について説明があり、以下の発言があった。

- ・ 今年度から「分からない」の回答項目を追加した。これにより学校からの発信がうまくできているかを検討したい。（藤井校長）
- ・ 保護者は全学年対象に調査を行う。児童は３～６年のみ調査を行う。（鈴木主幹教諭）
- ・ 子供には、学校・習い事・家庭でのそれぞれの姿があるが、アンケートで回答する際に学校での育ちだけで評価するのか、習い事での育ちで成長した子供の能力として評価するのか回答の際に分からない。（山田委員）
- ・ 学校で育まれていることを評価して欲しい。「分からない」という回答を用意し

たのは学校のアナウンスが適切なのを見極めたいため。(藤井校長)

- ・ 山田委員と同じことを悩んでいる保護者がいると思うので、アンケート用紙に補足してほしい。(中村委員)
- ・ 今後補足する。(藤井校長)
- ・ 学校で育まれたことが生活で見えてくる。保護者が線引きするのは難しいと思う。(戸田委員)
- ・ 保護者が迷わないよう、検討して作成していただきたい。(飯尾会長)

学校評価について全員異議なくこれを承認した。

#### (5)「学校支援活動」について

議長の指示により、鈴木主幹教諭から別紙資料に基づき「学校支援活動」について説明があった。

- ・ 算数ボランティアについて別紙資料に基づき戸田委員から説明があった。算数は得意不得意の差が大きくなりやすいため、不得意な子の底上げを図るボランティアが必要と考えている。(戸田委員)
- ・ 学校側のニーズに合ったボランティアを持続可能で子供たちにとって理想的な形で整備していきたい。窓口や体制に課題があるため模索しているので、意見がほしい。(鈴木主幹教諭)
- ・ 必要な協力依頼は、別紙にまとめている。コーディネーターがいたら、協働センターへ橋渡しの役割をお願いしたい。(飯尾会長)
- ・ ボランティア募集は学校だよりで具体的に募集をかけるのか。(飯尾会長)
- ・ 構想段階だが、登録用紙を作成し保護者や地域の方に登録してもらおうと考えている。協働センターにて地域回覧などで人材募集をしてほしい。現在人材リストはあるか。(鈴木主幹教諭)
- ・ 学校でのボランティアに来てくれそうなリストはない。協働センターでのボランティア活動ならできる人はいる。(伊藤オブザーバー)
- ・ ボランティアの募集を具体的な内容で発信していく方がよいと思う。登録制度は良いと思う。(飯尾会長)
- ・ クラブ活動などの具体例を出して募集する方が連絡しやすいと思う。(戸田委員)
- ・ 多くのことを実行しようとするのではなく、小さな気付きを積み重ねていくことが大切。焦らず1つずつ進めていくことが大切。(鈴木陽子指導主事)

学校支援活動について全員異議なくこれを承認した。

#### その他報告事項等

飯尾会長より研修会参加報告があった。

次回会議は、令和7年2月6日(金)午後2時00分から多目的ホールで開催する旨の報告があった。